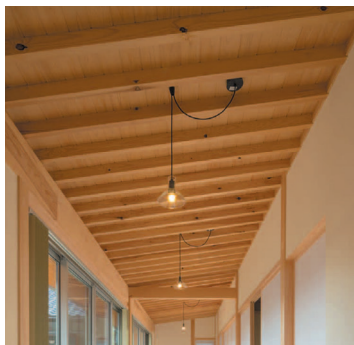




ひろしまの
住まい事例集
2014

広島県の自然と地域にあった住まい



ごあいさつ

Greeting

自然を大切にしたい持続的な暮らし方が問われています。

木は大気中の二酸化炭素を固着し、さらには再生が可能な資源の一つであり、

木造住宅は木の最大の消費先といえます。

また、あらゆる分野において省エネルギー化の推進が求められており、

住宅についても国では、平成32年までに、

全ての新築住宅について省エネルギー基準への適合を義務化する方針を打ち出しております。

こうしたことを契機として、平成24年度、広島県内の木材生産、建材流通、設計・施工に携わる

住宅生産者が連携してスキルアップや地域の木材の利用拡大等を推し進めることを目的として、

「広島県木造住宅生産体制強化推進協議会」を設立しました。

今後は、地域で産出される木材を使い、建つ場所の気候風土や敷地の状況に配慮しながら

省エネルギー基準に対応し、さらには長期にわたって利用できる耐久性などを備えた

優良な木造住宅の普及促進に取り組んでまいりたいと考えております。

この事例集は、昨年度に引き続き、優良な木造住宅の普及促進の一環として作成したものであり、

より多くの人の目に触れ、

これから住宅の新築やリフォームをされる方の参考となることを願っております。

最後に、この事例集作成に当って御協力いただいた多くの建築主、設計者、

並びに施工者の皆様に対して厚くお礼申し上げます。

平成27年3月1日

広島県木造住宅生産体制強化推進協議会

会長 元廣 清志

目次

Contents

県産材を利用し、長期利用への対応の面でも優れた事例

かぼちゃ束の家【(株)坂田工務店】	P5-6
しろの家【中村建設(株)】	P7-8
湯野の家【(株)加度商】	P9-10
坂西二丁目の家【(株)KIworks】	P11-12

省エネ基準への対応

広島の四季と過ごす家【(株)池芳工務店】	P13-14
陽だまりLabo【(株)大喜】	P15-16
祖母の遺した家に住むということ【(株)竹野内建設】	P17-18
省エネ対応のかわいい家【菱和建设(株)】	P19-20

地域の気候風土や敷地の状況に的確に対応した事例

くらしの家【くらし設計室】	P21-22
瀬戸田の離れ—古民家再生工事【(株)濱田昌範建築設計事務所】	P23-24
木立ちの家【後藤亜貴建築設計事務所】	P25-26
和風旅館の様な上質感に満ちた家【(有)塩田工務店】	P27-28
趣楽の家【高橋工務店(株)】	P29-30
焼き杉が香る家【橋本建設(株)】	P31-32
Glass box【(株)トランスデザイン】	P33-34

ひろしまの住まい事例集 ~自然と地域に合った住まい~ の作成について

About creation of the example collection of Hiroshima houses.

①目的

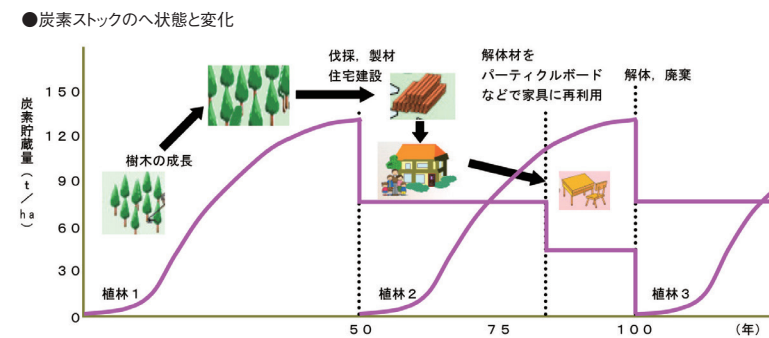
住宅は本来、建つ場所(地域)の気候風土や敷地の状況などに応じて個々に計画され、その地域を熟知した工務店などにより建設されてきました。昨今は大半の部分が規格化された住宅が増えつつありますが、こうした従来からの「地域型住宅」とも言うべき住宅の建て方も再評価すべきと考えました。そこで、県内の「地域型住宅」の優れた事例をわかりやすく取りまとめて広く紹介することで、これから住宅の新築やリフォームをされる方の参考としていただき、より良質な住まいづくりの一助となることを目的とします。

②事例選定のコンセプト

今後の住まいづくりに求められる視点として次の4つのコンセプトを設定し、このコンセプトに沿って優れた創意工夫のある事例を「ひろしまの住まい事例集」として取りまとめました。

①地域材(県産材)利用

地域で産出される木材を積極的に利用することは、木の生産・消費のサイクルを生むことにつながり、二酸化炭素の吸収源である森林の適切な保全にもつながります。

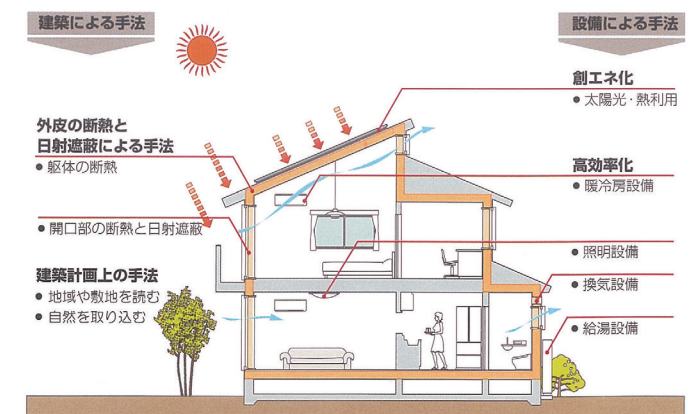


②長期利用への対応

住宅を長く大切に使い続けることは、住宅生産に伴う消費エネルギーを直接減らすことにつながります。長期にわたって利用するための耐久性や、家族構成の変遷に合わせた間取りの可変性などが今後の住まいづくりにおいては求められます。

③省エネルギー基準への対応

地球環境問題への対応の一つとして、住宅での消費エネルギーを減らすことが重要です。今後の住まいづくりにおいては、住宅の断熱性を高めるなどの従来の取組みに加え、地域の気候や敷地に応じた自然の光・風を取り込む工夫も必要です。



④地域の気候風土や敷地の状況への対応

住宅には、建つ場所(地域)の気候風土や敷地の状況などに応じた多様な形があるべきです。こうした個別の事情を考慮し、設計や工事の各段階で創意工夫することが求められます。

③広島県木造住宅生産体制強化推進協議会

住宅生産に係る次の関係団体により構成される協議会です。

【構成団体】

(公社)広島県建築士会、(一社)広島県建築士事務所協会、(一社)広島県建築センター協会、(一社)広島県工務店協会、(一社)広島県木材組合連合会、(一社)広島県住宅産業協会、(一社)全国住宅産業協会中国支部、(一社)日本ツーバイフォー建築協会広島県支部、(一社)日本住宅リフォーム産業協会中国四国支部、広島県森林組合連合会、広島県家具工業連合会、(株)スガノ、(株)小野産業

【オブザーバー参加】

広島県土木建築局住宅課、広島県農林水産局林業課

【協議会事務局】

(公社)広島県建築士会 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F Tel:082-244-6830

新築

東広島市

かぼちゃ束の家

【建築主】 ○様

【設計者】 株式会社坂田工務店一級建築士事務所 高原 良彦 TEL 0826-45-2281

【施工者】 株式会社坂田工務店 高原 良彦 TEL 0826-45-2281



外観

庭よりリビングを見る。開放的な庭とのつながり。



子供室・かぼちゃ束

2階の子供室は方形屋根にかぼちゃ束を設置。平らな天井とは違った空間のひろがりを感じることができる。



かぼちゃ束



玄関

自転車も収納できる玄関。

設計・施工者の創意工夫点

敷地は住宅団地の三角地に位置し、三方をバス路線の道路に囲まれ、南面は隣地に接しているため、庭への開口を大きく取りながらも、プライバシーを確保した。東と南からの採光を採り入れ、階段や吹き抜けを通して風の通りにも配慮した住まいは、無垢材や自然素材を多用し、構造材や造作材はもちろん、収納の棚板や建具材まで、すべてを国産材の杉無垢材を使用し、床や天井の仕上げ材は現場で色味や木肌を揃えて施工した。2階の子ども室は方形の天井にかぼちゃ束を設置し、隅木の本組みと杉板の天井が心地いい広がりを感じる空間とした。

事例の特徴

- 床・天井材などは、杉の無垢材（無地上小節）を使用した。
- 構造材については、広島県産材を使用、ひろしま森づくり事業（県産材消費拡大支援事業）の補助金を受けた。



吹抜けより



薪ストーブのあるLDK

LDKの中心にある薪ストーブ。家族団らんの中心にもなり、暖をとる以外に、料理を作る楽しみも。内土間は、外ともつながっているので薪の出入も楽々。



土間からリビングを見る



キッチンからリビングを見る

キッチンを中心として家族の様子を見渡すことができるつながりのある空間。



リビングからキッチンを見る

ダイニング横には畳コーナーを設置。子供達の昼寝スペースとしても活躍。



寝室

障子からやわらかな朝の光が入る塗り壁の落ち着いた寝室。

新築

広島市

しろの家

【建築主】 F様
【設計者】 中村建設株式会社 多田 寿玲 TEL 082-237-1056
【施工者】 中村建設株式会社 中村 和弘 TEL 082-237-1056



外観



ファサード

青い空にくっきりと浮かび上がるしろい壁と大屋根。造作玄関庇。



玄関ポーチ

アプローチ横のグリーンが、玄関を一段と引き立てる。

設計・施工者の創意工夫点

耐震、省エネ等を考慮し、長期優良住宅の認定を取得した。建替え前の思い出のある家から、室内建具などを再利用し、家具が合うような住空間を考えました。その室内建具や窓は周辺環境から風の通り道を考慮して配置し、1年を通して快適に過ごせるよう計画しました。

事例の特徴

- 長期優良住宅
- 地域型住宅ブランド化事業「もみじの家」



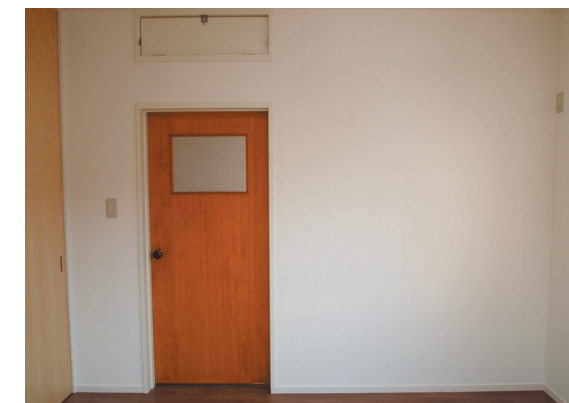
キッチン

手元が見えないタイル張の腰壁と電球が対面キッチンを構成。



リビング

元の家にあった建具を再利用し、続きの洋室への光と通風を確保。



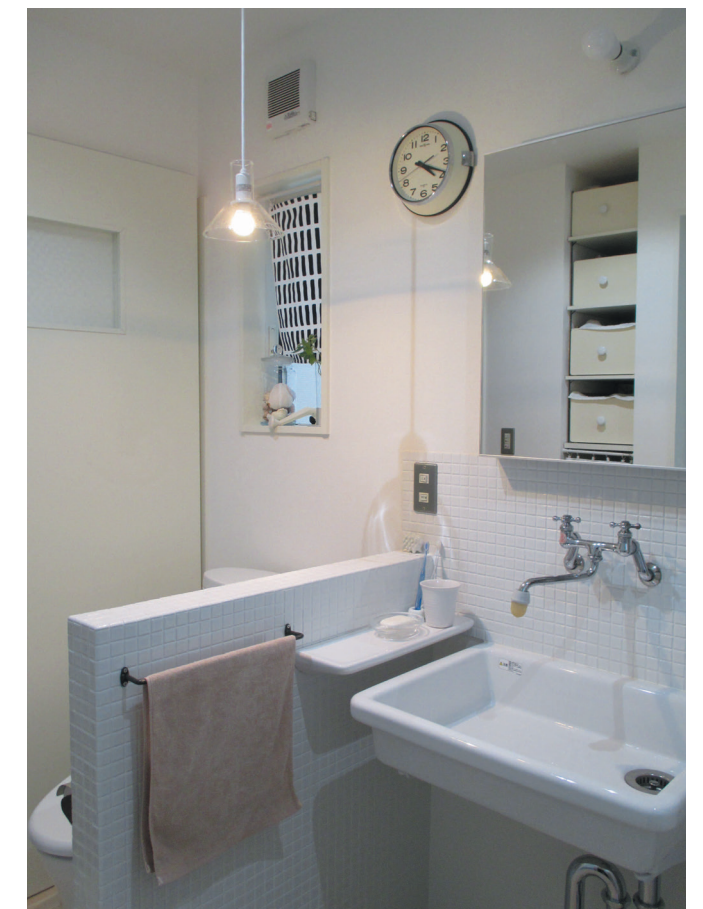
洋室

風の通り道の内倒し扉。入口には建替え前の扉を再利用。



納戸

ホールから続く広々納戸スペース。荷物の出し入れがスムーズにできます。



サンタリー

清潔感あふれるレトロな空間。

新築

福山市

湯野の家

【建築主】 S様

【設計者】 株式会社加度商 加度 亮平 TEL 0848-22-2693

【施工者】 株式会社加度商 加度 亮平 TEL 0848-22-2693



玄関ポーチ

石をアクセントに緑をたくさん植えることで、外壁の白い塗り壁を強調した。



外観

南面に多くの開口部をとり、軒を張り出すことで、季節に適した日射を得られるようにした。

全景

開口部が玄関扉しかなく、特徴的な外観形状が目をはく。

設計・施工者の創意工夫点

小規模な開発によって造られた今回の計画地は、西日が特に強く、その対策が必要とされる敷地であった。そこで、その対策として、思い切って西面の開口部を玄関扉のみとした。その結果、シンプルが故に、とても目立つファサードとなった。室内は漆喰・無垢材といった自然素材を中心に、石材をアクセントにすることで、素材が際立つコーディネートとした。動線計画や収納計画はもちろん、家族の雰囲気や自然の陰影や空気、五感で家を楽しめるよう工夫をした。

事例の特徴

- 「県産材使用量」 25㎡
- 「県産材部位」 主要構造部材 羽柄材



1 内観

リビング中央に大きな吹き抜けを設けることで、家族の気配を感じるとともに、広さと明るさを強調できる。シーリングファンや高所用窓を用いることで、温熱環境にも配慮している。

2 内観

階段も一つのインテリアとして考え、圧迫感が出ないように鉄骨を用いたストリップ階段とした。

3 内観

使い易さと収納力、デザイン性を考え、食器棚を中心とした大型の家具は造付けとした。その結果、部屋全体に統一感が生まれ、利便性と共に、デザイン性が向上した。



内観 5

吹抜けから見下ろせば各素材が引き立っているのがわかる。



内観 4

書斎からつながる大型のウォークインクローゼット。動線の他、収納物もしっかり考慮し、計画したレイアウト。

内観 6

和室はシンプルながらもモダンな和室とした。室内からは庭の木が見え、落ち着きと、癒やしを与えられる空間とした。





坂西二丁目の家

【建築主】 T様
 【設計者】 株式会社 KIworks 井手口 耕三 TEL 082-881-1321
 【施工者】 株式会社 KIworks 井手口 耕三 TEL 082-881-1321
 【企画立案者】 株式会社 KIworks 井手口 耕三 TEL 082-881-1321

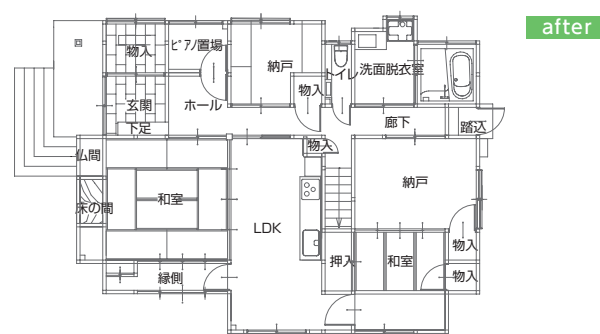
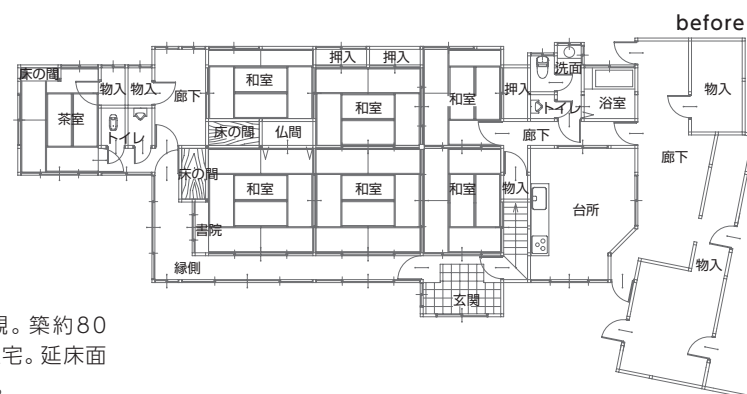


LDK
古民家の風合いを残したLDK。



工事前外観
減築前の外観。築約80年の店舗付住宅。延床面積273.48㎡。

工事後外観
県道と町道の建設により建物の約1/3を減築。入母屋屋根から切妻屋根に変更。



設計・施工者の創意工夫点

道路の建設に築約80年の店舗付き住宅がかかり、建て替えるのではなく、減築を行い、古材を活かす計画とした。道路建設により、地盤が現在より約70cm上がるため、建物を持ち上げ、ベタ基礎を新設するなど、変化する周りの環境に合わせながらも古民家の趣を残し、耐震性や省エネ性の向上を確保した。仏間と床の間を移設して残すなど、先祖から伝わる住まいを大切にしながらも、住宅の性能を向上させたいとの建築主の要望を、創意工夫の積み重ねにより実現した。

事例の特徴

- 木材利用ポイントを上限ポイント迄利用
- 減築で、間取りが変わることから、柱・梁において、できるだけ既設材を残しながら解体を行った。
- 追加材において古材の雰囲気を出せるように塗装にて工夫を行った。



玄関
和室から玄関に変更。光り天井で演出。



ジャッキアップ
今後予定される県道と町道の地盤面が現状より約70cm上がるため、建物をジャッキアップ。



基礎配筋
べた基礎及び基礎立上り配筋完了。



和室1
仏間、床の間、書院を移設により復元。



和室2
玄関から和室に変更。



LDK
丸窓の竹を再利用。

新築

江田島市

広島の四季と過ごす家

【建築主】 S様

【設計者】 一級建築士事務所 株式会社 池田芳工務店 TEL 082-845-5858

【施工者】 IKEHOUSE 株式会社 池田芳工務店 TEL 082-845-5858



全景

瀬戸内海を望め、広島・瀬戸内海の四季の変化を一年中感じることができる。



外観①

大自然のバックにも負けない存在感を演出したデザイン。



外観②

漆喰の外壁、オレンジ色の瓦屋根、薪ストーブの煙突と、一日中景色とマッチする。

設計・施工者の創意工夫点

江田島市沖美町という立地条件『日本一夕日の美しい街』を最大限活かし、家のどこに居ても絶景の海を感じてもらえる間取り構成としました。北側の高い位置にメイン道路があるので、道路から瀬戸内海・島をバックに建物が活かせる大屋根を採用。自然と共存できるように、外部・内部の仕様は弊社の得意とする自然素材で統一しました。

事例の特徴

●省エネ等級 4



リビング

勾配の吹抜けに大開口を設け、どこに居ても絶景を眺められる設計。吹抜け上部のステンドグラスもお施主のこだわり。

LDK

床はナラ、壁は無添加漆喰。薪ストーブを設け、自然を眺めるだけでなく、冬は薪の調達もおこない自然と共に生活できる環境を！



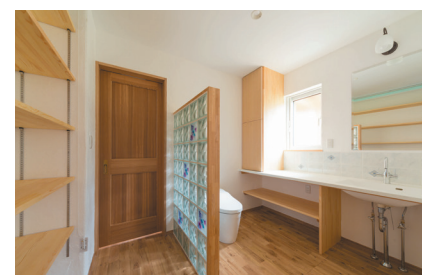
1階寝室

南面の掃き出しからは海を感じられ、西に設けたステンドグラスもリビング同様、お施主の拘りが詰まっている。



2階ゲストルーム

高さを有効に活用した勾配天井とし、外観のデザインも考え、一部天井高を下げてご提案。



レストルーム兼洗面室

海外のホテルのように、トイレと洗面がつながった空間を、ガラスブロックでさりげなく仕切り特別な空間へ！



1階

構造梁を現にして、アクセントとし2階のゲストルームからは、大屋根のダイナミックな吹抜けと絶景を望める。

新築

広島市

陽だまりLabo

【建築主】 T様

【設計者】 株式会社半田雅俊設計事務所 半田 雅俊 TEL 03-3579-5571

【施工者】 株式会社大喜 TEL 082-875-3300



全景

シンプルなデザインで、木をふんだんに使った外観、屋根一体型の太陽光発電によりゼロエネルギー化住宅を実現。落葉樹を植えて冬の日差しを入れ、夏は緑のカーテンで日陰を作ります。



ウッドデッキ

大きなウッドデッキで室内と戸外をつなぎBBQをしたりペットとの遊び場にもなっています。



リビング階段

毎日家族が、顔を合わせる間取りです。

設計・施工者の創意工夫点

良質なデザイン、高性能な住まい、長寿な家を！

丈夫なだけでは実現致しません。世代交代と共に住まい方は激変します。将来の変更が容易なつくりです。それぞれの敷地環境に合わせて、室内と戸外をつなぐ外構計画をデザインしました。こだわりの自然素材と自然エネルギーをシミュレーション。四季を通じて『きれいな空気と快適室温で暮らせる家』です。

事例の特徴

- 省エネ等級4
【広島県の東北などの寒い地域、気候区分V地域での】
- 「地域材使用部位」主要構造材 100%



LDK

陽だまりLaboは太陽光をコントロールします

夏：夏の日差しを遮り、自然室温で快適に暮らせる環境を整えます。格子や緑のカーテン等で横からの日差しを遮ります。タープ等を張り日差しを遮り戸外で楽しむことが可能です。

冬：南面の大きな開口部からは、吹抜けを通じて建物の奥まで日差しが入り込みます。



スケルトンインフィル

建物の構造体と間取りや設備を分離し将来の暮らしの変化に対応できる可変性能！



バルコニー

1階に光を取り入れ可能な樹脂グレーチング。

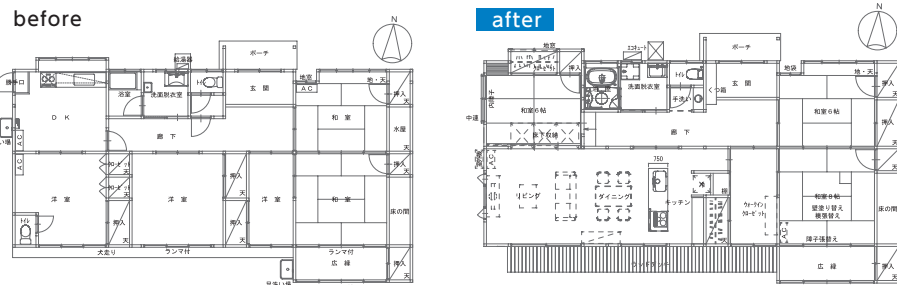
リフォーム 広島市

祖母の遺した家に住むということ

【建築主】 S様
 【設計者】 株式会社竹野内建設 竹野内 政信 TEL 082-822-7711
 【施工者】 株式会社竹野内建設 竹野内 政信 TEL 082-822-7711



LDK
 家族が集う大切な場。光と風を取り入れるため、日当たりの良い南側に配置。窓に複層ガラスを採用し、省エネ効果を高めた。広い開口部やテレビボード上に設けた通風・採光のための窓は、暗く風通しの悪かった室内空間を改善した。キッチン是对面型を組み込み、どこにいても皆でワイワイ集い楽しむことができるスペースである。



建物外観
 住みつくための改修工事。瓦工事、外壁工事。



建物外観（西側）

設計・施工者の創意工夫点

- ・断熱耐震同時改修を行い、これからの暮らしの質を高める。窓も複層ガラスにし、省エネに配慮した。
- ・玄関横の続きの上質な和室、廊下の無垢材の床など、価値のあるものはそのまま残し、全体的に和モダンな雰囲気仕上げた。
- ・南側の2間を繋げて広いLDKにし、居心地良い「集いの場」とした。ウッドデッキに繋がる広い開口部は採光・通風を確保する。
- ・建物全体の通風・採光を考慮した窓の配置と建具の工夫で室内空間を明るくした。
- ・和室を小上がりにし、段差の活用で収納場所を増やした。玄関に設置したトールタイプの収納も家族の強力な味方になる。

事例の特徴

●国交省
 「住宅・建築物省エネ改修等緊急推進事業」



玄関ホール・廊下
 上質な自然素材の床板は残し、壁と天井を改修。



キッチン
 コンパクトなキッチン。IHクッキングヒーターは直火を使用せず料理中の余熱が出ないことで、結果的に光熱費を抑えることにつながる。



太陽光パネル
 南側屋根に設置。



南ウッドデッキ
 南側開口部に沿って設けたウッドデッキは「内」と「外」を繋ぎ、室内空間に広がりを持たせた。プライバシー保護のため植栽はそのまま残した。

リビング・和室
 改修前は台所の部分をリビングに続く和室とした。小上がりにしたことで視界の変化を愉しめる。床下の収納は喜ばれた。また、テレビボード上の窓は「額縁」となり、季節移ろいの風景を絵画のように楽しむことができる。



手洗い
 懐かしい黒タイルは、改修前に使われていたタイルを再利用。

新築

廿日市市

省エネ対応のかわいい家

【建築主】 K様
 【設計者】 菱和建设株式会社一級建築士事務所 TEL 082-274-4685
 【施工者】 菱和建设株式会社 TEL 082-274-4685
 【企画立案者】 ダブルスネットワーク株式会社 TEL 082-297-5026



全景

素焼きの瓦で南欧風をイメージした外観です。



外観

窓周りの装飾



外観

柱の装飾

設計・施工者の創意工夫点

廿日市駅北土地区画整理事業の分譲地で台形状の土地に2台分の駐車場とお家を敷地いっぱいに配置したのですが、収納スペースが足りなかったためリビングの下に6帖の半地下の収納室を設けています。

事例の特徴

- 省エネ性能：Q値= 1.3
 【断熱の構成】屋根・天井：セルロースファイバー（200mm）、壁 充填：セルロースファイバー（120mm）、外貼り：ネオマフォーム（20mm）、開口部：樹脂サッシ トリプルガラス、換気：第1種全熱交換型換気
- 県産材利用 18㎡
 土台、大引き、梁、柱、間柱、窓台、まぐさ、母屋



内観1

垂れ壁をアーチ型に・天井梁を表しにしてオシャレに。
 壁は漆喰塗り壁（施主がご自分で塗られました。）



床下（施工中）

ホウ酸の防蟻薬剤を塗った土台と大引き。基礎の内側に断熱材ポリスチレンフォームを貼りつけ。全熱交換型換気の各部屋から排気を集めるアルミダクトを床下に設置。（ダクトスペース確保のため基礎高を520mmとしています。）



内観2



内観3

2階ホールのカウンター・本棚



内観4

2階ホールの天井梁を表しに、アーチ型の外部サッシ。



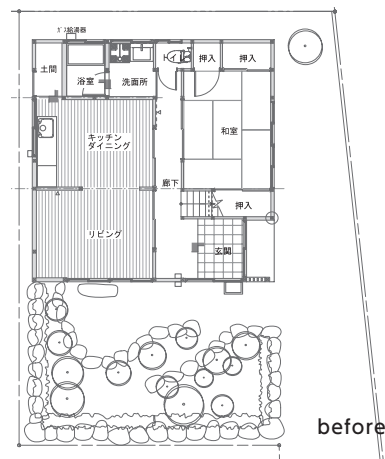
くらしの家

【建築主】 穂垣 友康様
 【設計者】 くらし設計室 穂垣 友康・穂垣 貴子 TEL 084-973-7202
 【施工者】 株式会社マスタービルド 中島 広尚 TEL 084-971-6783

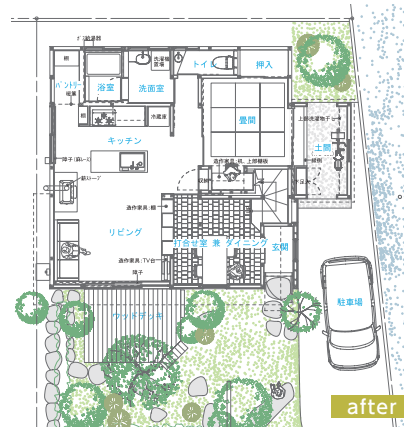


ファサード
 改修前は、庭の樹木が密集し閉鎖的な印象であった。

南面ファサード
 エントランスから玄関にかけては見通しの良い公の場として前庭を計画した。1階外壁は変化してゆく素材により街並みとともに時間の経過を共有したいとの思いで杉板張りとしている。



before



after



キッチンからの広がり
 家の中心となるキッチンからはリビングとつながる庭、畳間越しに見える土間、2方向のつながりを感じる。

テラス
 既存の植栽を活かした庭は福山の庭師：橋本善次郎氏に依頼した。ウッドデッキを介して庭とつながるリビング・キッチンを見守る。



設計・施工者の創意工夫点

大量供給された均質化した住宅であっても、どれだけ豊かに暮らせるかを探りたいとの思いから、祖父が建てたどこにでもある築40年の一戸建てを、自宅兼設計事務所とするために改修した。コンパクトな住まいでありながら床面積を増やすのではなく、家の中に視線や空気が通る「抜け」をつくることで、小さいながらも広がりを感じられる豊かな空間を目指した。大切にしたのは、この土地の材料を積極的に使い、地域の職人の「手仕事」を活かすこと。この場所を訪れる人々にとって、豊かな「くらし」の手掛りとなることを願っている。

事例の特徴

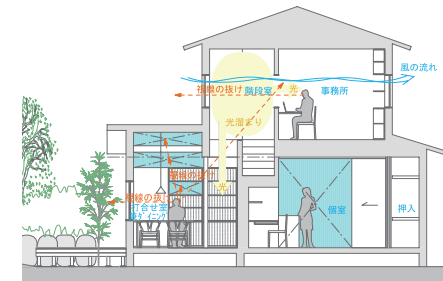
- 自然素材や地域の材料を使用し、地域の職人の手仕事を活かした。
- 設計者の自宅兼事務所として、様々なディテールや素材を使用することにより、訪れるお客様に住まいづくりのヒントを提案。



リビングからキッチン・畳間を見る
 各部屋の間仕切りはすべて引戸とし、生活の用途に沿ってつながりをつくっている。



キッチンからリビングを見る
 リビングの窓はオリジナルの3枚引戸の木製建具とし、大きく開くことで自然の風が家の中を通り抜ける心地よい住まいとなっている。



打合せ室兼ダイニング
 心を落ち着かせて会話が愉しめるよう光を絞った静謐な空間を目指した。上部はリビングへとつながる視線の抜け。家具は三原の木工家：鎗屋大輔氏に依頼した。



畳間
 日本最高の畳表とされる備後表を使用した畳間。福山で17代続く老舗畳店の仕事。



打合せ室から階段ホールを見る
 打合せ室から2階事務所へは、階段ホール吹抜けを通して視線や空気がつながる。階段ホールの壁はハンドメイドタイルと珪藻土による職人の手仕事を感じられる壁となっている。



土間
 屋根がかかった縁側付きの土間は、家族の玄関であり、自転車置き場、雨が降った時の洗濯物干し場などいくつもの役割を担っている。



洗面所・浴室
 視線が抜けることで広がりを感じる水廻り空間。間仕切り壁は、ガラスのキャビネットとして利用する。

リフォーム 尾道市

瀬戸田の離れ—古民家再生工事—

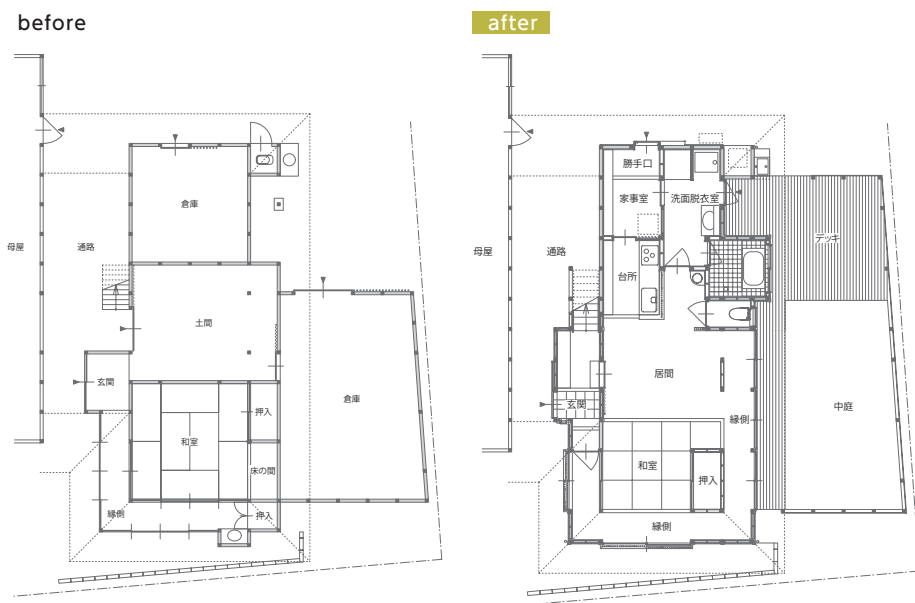
【建築主】 K 様
 【設計者】 株式会社濱田昌範建築設計事務所 濱田 昌範 TEL 0848-20-7312
 【施工者】 盛工務店 長尾 盛充 TEL 0845-27-3987



東外観
 景観に対する配慮から明治に建てられた本来の姿に戻し母屋との繋がりを重視した外観を目指した。



南外観
 セメント瓦を和瓦に葺き直し外壁を漆喰で塗りアルミサッシを木製格子戸で覆った。



設計・施工者の創意工夫点

明治初期に建てられた離れ兼農業用倉庫は、一度は大工さんに建て替えるをすすめられた。それでも、先祖から受け継いだモノや精神を大切に次の世代へと繋ぎたい。その想いで、施主との対話を重ね、長い時間をかけて丁寧に作りあげた。築 140 年以上前の建物を改修するために、耐震性や断熱性の向上は勿論、建物のバランスの整合を図りながら、母屋とのつながりを重視し、先祖にも誇ることができる、現代の生活に合った住まいを実現した。建物もご家族も、また次の百年へと永く続いていくことを望んでいる。

事例の特徴

●地元大工と地元材木店により、木材はなるべく地物材を使った。



中庭・デッキ
 不要になった倉庫を、柱を残して解体し木摺り塀で囲って、中庭とデッキを造った。



吹抜
 古い部材と新しい部材を混在させることで時の流れを感じ先祖に感謝できる空間にしたかった。



和室・居間
 仕上げは全て自然素材を使い時の流れを好意的に感じられる空間を目指した。



お風呂
 お風呂はここでの生活に大切な空間ととらえ日常の潤いとなる場にしたいかった。



居間・和室
 現代の住まいとして必要な断熱性能や構造補強は確保した上で自由度の高いプランを目指した。



台所・居間
 年を重ねてきた建物に敬意を払い施主の改築に対する思いに応える誇れる空間にしたかった。

新築

福山市

木立ちの家

【建築主】 S様

【設計者】 後藤亜貴建築設計事務所 後藤 亜貴 TEL 084-941-5404

【施工者】 ホーム株式会社 角田 浩樹 TEL 084-987-3555



全景

山裾の造成地に並び建つ住宅棟とガレージ棟。敷地余白には広葉樹の種が飛来し、やがて木立ちを作る。



ファサード

道路側のファサード。杉板貼りの外壁は最長部で7mの一枚ものを使用している。



夕景

建物間からこぼれる明かりが奥行きある佇まいを作る。

設計・施工者の創意工夫点

背後に山をひかえた雛壇状の造成地に、程よい距離感をもたせてガレージと住宅を分棟配置した。敷地の余白には広葉樹が飛来し、年月をかけてやがて木立に包まれるというスケールの大きなプロジェクトである。住宅棟に設けた中庭は、家族の気配を心地よくコントロールしつつ、外部の自然との連動性とプライバシーを両立させている。敷地とクライアントと建物が一体となり、時を経て成熟してゆく住まいである。

事例の特徴

- 敷地の余白に生息する木と、素材としての木材との調和。
- 県内産の杉材を使用した最長部で7mの外壁。
- 同一素材を応用した塀やガレージ。



玄関

ガレージから玄関を見る。緩やかな円弧の塀でプライバシーが守られた家族だけの前庭。



ポーチ

キッチンからの出口から玄関を見る。来客や町の気配を感じつつもプライベートな前庭が確保される。



アプローチ

玄関からガレージを見返る。背後の山と前庭やガレージが折り重なる景色を作る。



ポーチ

居場所として使える玄関ポーチ。キッチンへも直接出入りできる。



LDK昼

中庭と連続して一体化するLDK。



LDK夕

夜も庭を楽しむ暮らしができる。

中庭

住宅棟の中庭を挟んで、程よい距離感で向かい合う部屋。

新築

安芸高田市

和風旅館のような 上質感に満ちた家

【建築主】 H様

【設計者】 有限会社塩田工務店一級建築士事務所 塩田 崇 TEL 0826-45-3658

【施工者】 有限会社塩田工務店 塩田 崇 TEL 0826-45-3658



全景

のどかな田園風景が広がる自然豊かなロケーションに建つ平屋の和風住宅。和風ながらも外壁にはガルバニウムスパンデルを採用し、シャープでクールな外観に仕上がった。手入れの行き届いた庭にふさわしい堂々とした佇まいに。



外観

白壁といぶし瓦、ガルバニウムスパンデルという異色な組み合わせをコラボさせた外観。

玄関ポーチ

大きくせり出した軒と造作の片引き戸が目を引く立派な玄関。

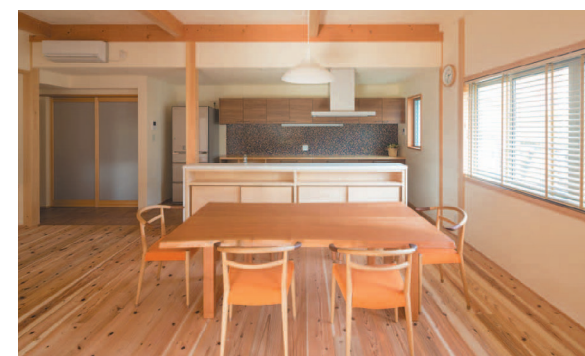


設計・施工者の創意工夫点

築100年以上が経ち老朽化した実家の母屋を立替え。従来の間取りをベースにしなが、使用していなかった部屋をLDKに取り込み、家族がゆったりと過ごせる明るい生活空間に。室内は明るさが取り込み、寒さが厳しい冬には太陽の温もりを蓄えられるようにと採用した廊下のタイルと深い軒など、パッシブハウスの要素も取り入れた。

事例の特徴

- 田舎の自然豊かなロケーションになじむ和風平屋住宅。
- 構造材には檜を使用し、また内装も漆喰や杉・檜の無垢材などをふんだんに取り入れた。



リビング

浮造り仕上げの杉の床は、肌ざわりが良く、ほんのり温もりをたたえる。広々としたLDKはゆとりの空間。

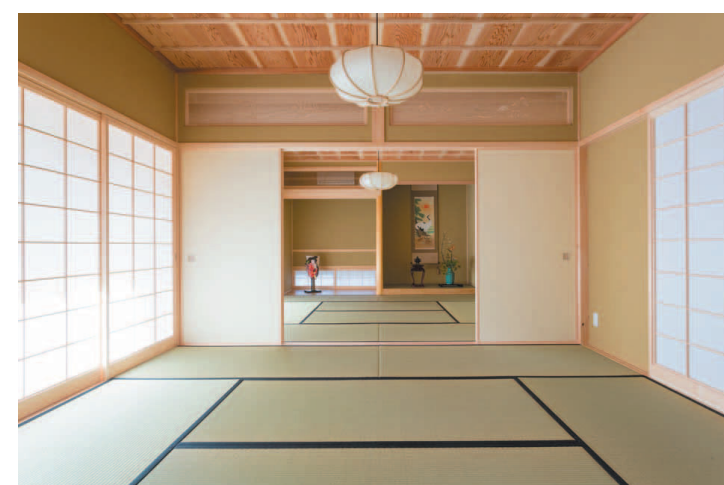


キッチン

キッチンの後ろには造作カウンター。壁のモザイクタイルは娘さんがチョイスされたもので床のテラコッタタイルとマッチしている。

広縁

冬は太陽光が射し込んで陽だまりのような温もりをもたらし、夏は深い軒が光を遮ってくれる廊下。蓄熱効果を持つ床のタイルは、冬はあたたかくて心地よい。



和室

廊下からの明るさも取り込める仏間。床の間や天井も純和風の仕上がりに。



玄関ホール

ドアから廊下へと横にみちびく玄関は和風旅館を思わせる。広い廊下の天井も幾重にも並べた化粧梁が美しい。

洗面所

キッチン・トイレ・洗面など水周りの床はタイルで統一。仏間以外の屋内の壁天井は全て吸湿重にも並べた化粧梁が美しい。吸臭効果を持つホタテ漆喰仕上げとした。

新築

呉市

趣楽の家

【建築主】 A様
【設計者】 高橋工務店株式会社 TEL 0823-34-5585
【施工者】 高橋工務店株式会社 TEL 0823-34-5585



全景
いぶしの一文字瓦がすっきりとした外観。



外観
落ち着いた引違いの玄関



外観
石を敷き詰めたアプローチ。

設計・施工者の創意工夫点

軒を深くして直射日光を遮り、窓を開放すれば風が通る、それが日本の伝統的な住まいの形でした。しかし敷地の条件や騒音、花粉など窓を開けられない事情も多い現代の中で、古き良きと新しいを融合させたお家が、この趣楽の家になります。窓には格子を付けて、いぶしの一文字瓦葺を採用し京町家風のすっきりとしたデザインに仕上げました。

事例の特徴

●省エネ対応ならば性能等級 4等級



内観
床はカバ桜の無垢材。



内観
造作収納の設置。



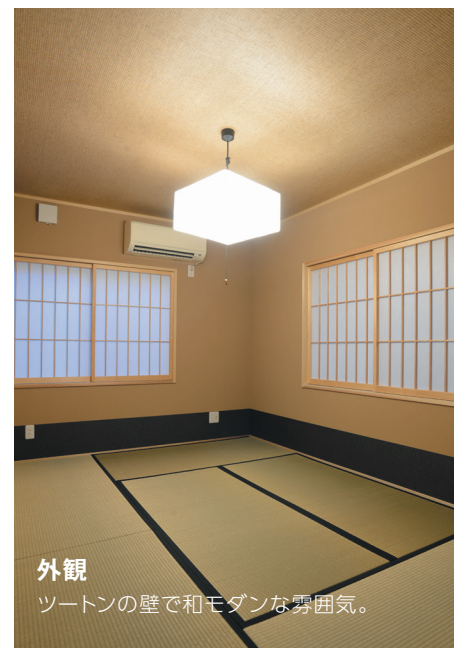
内観
キッチン是对面。



内観
リビングの隅にオシャレな手作りの棚。



内観
造作のTVボードに琉球畳。



外観
ツートンの壁で和モダンな雰囲気。

新築

広島市

焼き杉が香る家

【建築主】 S様
 【設計者】 橋本建設株式会社 松本 勇生 TEL 082-878-1110
 【施工者】 橋本建設株式会社 泉 直仁 TEL 082-878-1110



全景
 緑豊かなS様邸の周辺。ここに建てるなら、あまり奇抜な外観にはできない、周りの家とお揃いの外観に、とのご要望がありました。北側の山から吹き降ろしの風があるため、夏は冷房を使用していません。



外観
 建替えのため、既存の塀や植栽はそのまま残しました。腰板、軒裏に焼き杉を使用し、壁は珪藻土塗り、屋根は石州瓦。



1 浮造りの焼き杉の床
 足触りも良く、ほんのりいびつしたような香りが。
2 珪藻土の塗り壁
 ふんだんに使用した無垢の木+塗り壁で調湿効果。
3 薪ストーブ
 冬はこれ1台で家全体が温まります。

設計・施工者の創意工夫点

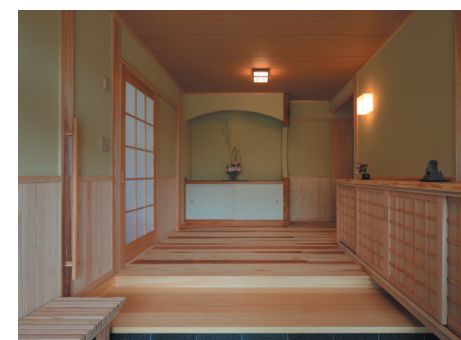
築40年の自宅を建て替えることになったS様。以前の家は山水があるためか湿気が多く、床材などがところどころ傷んでいました。建て替える家のご要望は、湿気対策を万全に施し、夏涼しく冬暖かい家。無垢の木をふんだんに使用し、構造材も外内真壁で木が呼吸できるように設計。北側の山から吹き降ろしの風があるため、南北に掃出し窓を設け、北から採風し、夏は冷房を使用しない生活をされています。

事例の特徴

- 周囲の景観に配慮した外観
- 軒を深く出し、夏の日射を遮蔽、夏でも冷房不要の生活
- 構造材を現しにして木が呼吸できるように計画



リビング
 ご主人が山から切り出し、乾燥させておいた杉丸太1本を3分割し、大黒柱、吹き抜けの化粧梁に使用。杉の香りが家中に広がります。



玄関
 以前より玄関を広くして大人数の来客にも対応。玄関先で話ができるように、ベンチを設置。



和室
 リビングに隣接した和室。LDKと繋ぐと大空間になるため、暖房使用時は障子で空間を分ける。



ダイニング
 北側のダイニング。夏場は北側の山から冷風が吹き降ろすため、ダイニングの北側に掃出し窓を設置。

新築

広島市

Glass box

【建築主】 T様
 【設計者】 株式会社トランスデザイン TEL 082-509-5007
 【施工者】 株式会社トランスワークス TEL 082-516-0008



外観①
 木目と黒がバランスよく配置されている。

外観②
 正面は黒、その他は白とすることにより重たい印象もなく、また白色部分をガルバリウム鋼板にし、正面と素材を替えることにより外観に動きを出した。



アプローチ
 シarpなガラスに、柔らかい印象の木を加えることにより、シャープすぎず柔らかすぎずの絶妙のバランスに仕上げた。

設計・施工者の創意工夫点

広島市佐伯区石内北にある住宅地での計画である。敷地は高台にあり、南北に抜けているため、日当たりや風通しは抜群である。家のどこにいても明るくをテーマに居室、非居室部分関係なく明るく開放的な雰囲気とした。夜の表情としては、テーマにある "Glass box" のように大きな箱の中にガラスの箱が柔らかく光を出し、家族を暖かく迎えてくれる家とした。ガラス素材により光の出方が違うのもこの家の見どころである。

事例の特徴

●広島市は地域柄、春から秋にかけて日中は南南西より風が吹くため、各居室の窓は南南西より風を最大限取り込める縦滑り窓(ウィンドウキャッチャー)とした。フラット 35S(A)に対応した、デザイン、性能ともバランスのとれた住宅としている。熱交換型換気扇を取り入れ、基礎断熱、屋根断熱にすることにより床や天井など室内の温度差も少なくすることが出来、快適な空間となるよう心掛けている。



玄関ホール
 南に面したLDKは日中は南からの光をふんだんに取り込むことが出来、北面の玄関・ホールとの仕切りのドアはガラスドア+ガラス窓を設け、日中の南からの光を玄関へ送り、また、その他の時間は北面の一日中安定した光を供給出来る利点を活かし、玄関からリビングへ光を通す工夫をした。



子供部屋
 勾配天井やロフト、ロフト下部収納は隠れ家とすることが出来、遊び心満載の部屋とした。



キッチン
 キッチン・食器棚は家具として製作をして、インテリアの一部として溶け込むように考えた。

広島県木造住宅生産体制強化推進協議会

●構成団体

(公社)広島県建築士会、(一社)広島県建築士事務所協会、(一社)広島県建築センター協会、(一社)広島県工務店協会、
(一社)広島県木材組合連合会、(一社)広島県住宅産業協会、(一社)全国住宅産業協会中国支部、
(一社)日本ツーバイフォー建築協会広島県支部、(一社)日本住宅リフォーム産業協会中国四国支部、
広島県森林組合連合会、広島県家具工業連合会、(株)スガノ、(株)小野産業

●オブザーバー参加

広島県土木建築局住宅課、広島県農林水産局林業課

●協議会事務局

(公社)広島県建築士会 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F Tel:082-244-6830

E-mail : info@k-hiroshima.or.jp ホームページ <http://www.k-hiroshima.or.jp/>